

議会だより



「楽しみだね！学校生活」(4月7日)

主な記事

大石田町ホームページ
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>



議会の
映像配信は
こちらから

令和6年度予算	2
補正予算、条例審議	6
どうする!?大石田 一般質問5人	8
もう一つの顔 新シリーズ	16

◆ 第1回定例会
(3月4日～13日)

- 第1回臨時会
(1月25日)
- 第2回臨時会
(3月28日)

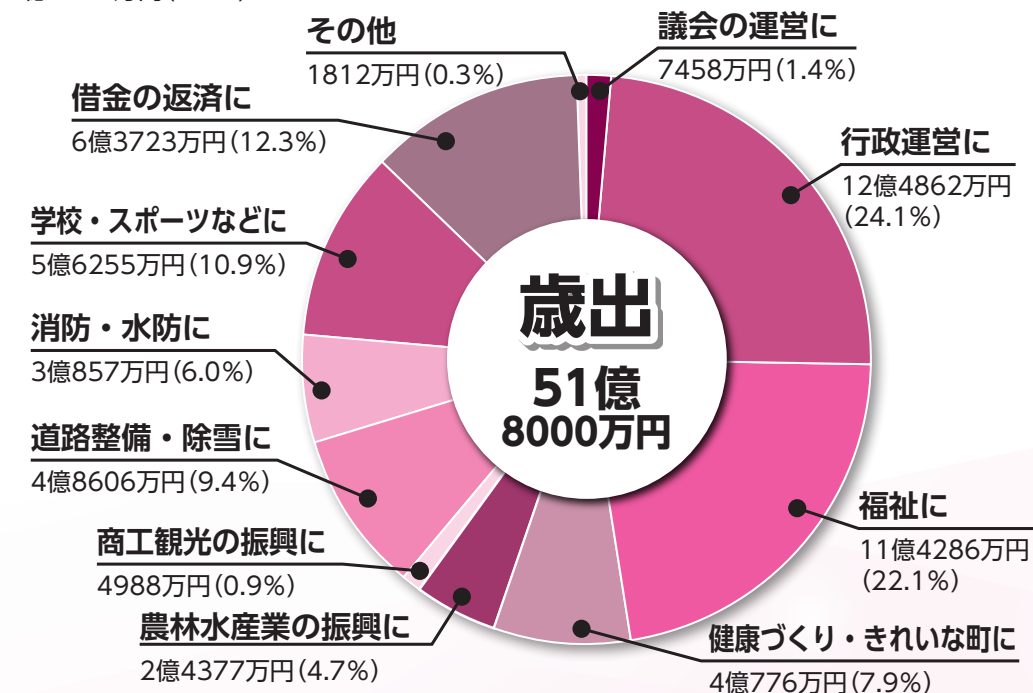
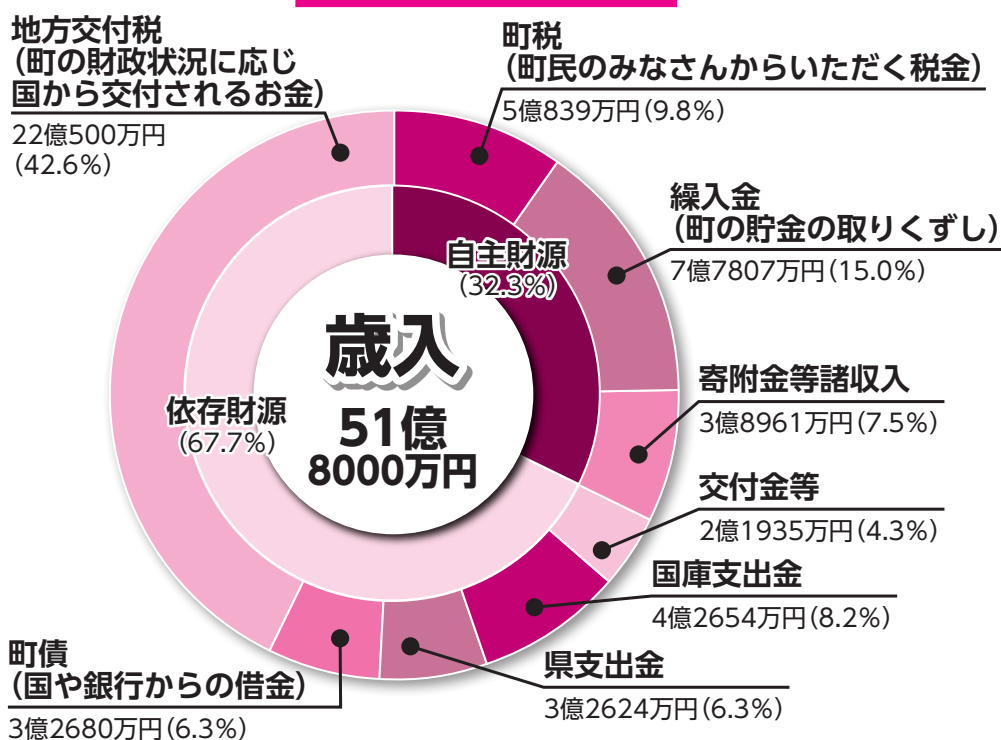
9389万円

000万円



一般会計予算 (前年度比 1億1000万円増額)

一般会計内訳



第1回 定例会

3/4~3/13

第1回定例会が、3月4日から3月13日まで、10日間の会期で開催されました。

一般質問では、5人の議員が、最上川治水対策事業、小學校統合などについて質問を行いました。

各会計予算、補正予算、条例の制定、指定管理者の指定、人事案件などを原案どおり可決しました。

令和6年度予算は、予算特別委員会に付託され、慎重に審議した結果、全予算を全賛成で原案どおり可決しました。

各会計補正予算
5件

各会計予算
6件

条例制定
7件

指定管理者の指定・その他
4件

報告・諮問
4件

請願
1件

人事
1件

議員発議
3件

**以上31件
原案どおり
可決**

令和6年度予算 総額71億

51億8

予算の審議は、予算特別委員会を設置し、各課から主要な施策についての説明を受け、詳細にわたり審査を実施しました。その結果、一般会計、3特別会計及び2公営企業会計の全議案について、全員賛成で可決しました。

各特別会計予算及び 公営企業会計予算

区分	本年度予算額	前年度比
一般会計	51億8000万円	2.2%
特別会計	国民健康保険	7億7600万円 ▲0.4%
	介護保険	9億6680万円 0.7%
	後期高齢者医療	1億2040万円 16.9%
	計	18億6320万円 ▲3.9%
公営企業会計	簡易水道	1250万円 支出ベース
	農業集落排水事業	1億3819万円 支出ベース
	計	1億5069万円 支出ベース
合計	71億9389万円	2.6%

※簡易水道会計及び農業集落排水事業会計は、令和6年度から公営企業会計として取り扱う。

令和6年度事業 ここに注目!



学校給食事業
令和6年度から完全無償化を実施。(材料価格高騰により小学生の給食費を315円、中学生の給食費を345円に設定、それぞれ25円ずつアップ)
(予算額8816万円)



最上川流域治水対策関連事業
かわまちづくり協議会の活動や横山地区内の宅地造成事業に対する経費。
(予算額1505万円)



Aiナビやまがた登録推進事業
山形県が運営する婚活マッチングシステムに入会する際の登録手数料を1万円を上限として助成する。
(予算額10万円)



災害対策事業
地域防災専門員を配置し、各地区の自主防災組織の活動を支援する。
(予算額9632万円)

含む 子育て支援策に着眼

予算特別委員会総括審査

一般会計

【全員賛成】

入学準備金拡充

今野 雅信 委員

町長が掲げる子育て支援政策、入学準備金が前年度より増額されたその経緯は。

町長 厳しい財政だが子育て支援はしっかりと行う。中学校、高校に入学する際の支援も厚くした。



たくさんの入学準備品

初編成予算の目玉

村形 昌一 委員

当選後初めて編成した予算の目玉は。

町長 子育て政策、給食費無償化と保育料完全無償化。

災害用備蓄品

今野 雅信 委員

ガイドラインでは備蓄品は3日分、昨今の災害を考えると1週間から2週間の備蓄が必要では。

町長 4月に防災専門員も着任する。防災会議等で幅広く意見を聴き、自主防災の啓発運動も行う。

一藤部冬馬 委員

備蓄品は避難所収容人数分だけでは不足。先の豪雨災害時、駐車場にも多く避難した。ベッドや布団など備えている

自治体もある。安心して過ごせる避難所の検討を。

町長 安心して避難できるような体制を整えていきたい。



消火栓226か所のうち、修繕件数は、年間3~5か所と少ない

消火栓整備

一藤部冬馬 委員

町内の消火栓226か所。備品修繕交換の補助はあるが、町内会でも出費することが難しい地区も出てきた。全額を公費で負担し、早めに修繕しては。

町長 大事なことと認識している、財政を鑑みながら進めていきたい。

村形 昌一 委員

古くて開きづらい消火栓も増えている。場所によっては機械除雪を考慮し、地中化も検討しては。

まちづくり推進課長 凍結して開かないことも想定される。研究、検討が必要。

Aiナビやまがた

一藤部冬馬 委員

婚活マッチングシステム登録料を補助する新規事業、町民への周知は。

まちづくり推進課長 町の広報紙、ホームページ、「大石田支援事業の便覧」にも載せ、周知を図る。

保育料、給食費無償化を

予算特別委員会総括審査



小玉 勇 委員長

予算特別委員会において新年度予算の審査を行い、一般会計、各特別会計及び各公営企業会計全てで原案のとおり可決すべきものであると大山議長に対して報告しました。

財政確保と状況は

村形 昌一 委員

国でも抑制気味、臨時財政対策債発行など財政確保も楽ではない。ふるさと納税も競争が厳しいが、今後の町政の取り組みは。

町長 様々なレクチャーを受けて危機感を持っている。4月から行財政改革を進めるよう指示している。

大石田まつり組織改善

今野 雅信 委員

持続可能なまつりを運営、新たな考えで企画に取り組める組織にしては。

町長 充て職になっていて硬直化のご指摘もある、意見をいただきながら組織の改善も検討していく。



令和6年8月16日大石田まつり!

防災行政放送

海藤 義則 委員

全然聞こえないが把握しているのか。お年寄りにはLINEやメールをなかなか見ない。まず一番は防災放送だ。難聴地域の解消を。

総務課長 聞こえづらい箇所は何か所がある。折り返し電話対応機能やLINE、メールでの確認を進めている。

※防災放送の内容を電話で確認できます。
02371481844



難聴地域の解消を

農地地域計画策定

海藤 義則 委員

6年度の重要課題に農地地域計画策定を掲げている。進捗状況は。

産業振興課長 他の市や町村と比較すると遅れている。県の支援、農林関係職員から指導をいただき6年度内には策定できると考えている。

職員のストレスチェック

川崎 義治 委員

ストレスチェックの結果は活かされているのか。

総務課長 年1回必ずストレスチェックを行う。個人のデータは把握できないが全体的な傾向はわかる。職員は共済組合に相談窓口がある。課ごと全体のものはない。その情報で何かあれば対応をする。

初の諮問を審査

諮問とは
ある事項を決定するため、議会に意見を聴くこと

町有地の行政財産目的外使用について、不許可処分をしたことに対して、業者側から審査請求があった。

町では、不許可の処分を取り消す裁決を行うにあたり、この度、議会に対して意見を求めた。

審査請求に関する諮問

議会で審議した結果、町の裁決に異議ない旨、答申することとした。

メガソーラー

村形 昌一 議員

FIT (固定価格買取制度) は失効しているが、審査請求が出てくるのはなぜか。

まちづくり推進課長 事業者からは「FIT失効認定取り消しの申立てをされており、仮に失効しても自由売電でも事業を進めていく」との話を聞いている。



小玉 勇 議員

町の優柔不断な態度がこのたびの結果を生んだ。きちんと事業者の方針を説明すべきでは。

町長 太陽光発電自体は再生可能エネルギーとして必要だが、里山保全、土砂災害対応や事業が破綻した場合に土地が放棄される可能性など、問題を考えながら話し合っていく。

まちづくり推進課長 事業者が太陽光の営業を行った際、その後に関する確約がとれていないため、状況を確認していく。

川崎 義治 議員

相手は弁護士を立てての文書だが、町は顧問弁護士に相談したのか。

総務課長 一度相談した。

一般会計 (全員賛成)

空き家

二藤部冬馬 議員

費用が高額で補助を受けても解体できない。補助を拡充する考えは。

町長 国、県の補助等をみながら研究していく。

村形 昌一 議員

地域おこし協力隊は任期終了後、住む所がなく町を出なければならぬ、町で起業したい、などの話を聞いたが。

まちづくり推進課長 物件を探しているとの話は聞いている。

町としては空き家バンクの登録物件や民間業者の紹介を通してサポートしていく。



解体費用補助の拡充を

コロナウイルスワクチン

今野 雅信 議員

今後、国の公的支援がなくなる。ワクチン接種の助成をしては。

町長 予算に盛り込んでいないが、研究していく。

土地整備

小玉 勇 議員

駅前の土地を拡張する件はどうなったのか。

建設課長 土地所有者と条件面で折り合わず、交渉は終了した。

第1回 定例会

3 / 4 ~ 3 / 13

補正予算・条例等

大石田町議会

ふるさと納税

今野 雅信 議員

返礼品ではスイカ、雪若丸、つや姫が人気だが、昨年の温暖化による影響は。

町長 しっかりサポートしてふるさと納税の寄付額を伸ばしていく。

新たな返礼品の考えは。

まちづくり推進課長 町内飲食店の食事券やスイカオーナー制度のオーナー券などを考えている。



緊急通報支援業務

遠藤 和好 議員

対象が高齢者だけの世帯だが、日中、高齢者だけになる世帯にも拡充を。

保健福祉課長 今後の検討課題だが、今のところ、65歳以上の高齢者を対象とする施策として実施している。

選挙公営

村形 昌一 議員



16年ぶりの投開票。政治に興味、関心を

今回初めて公費負担が適用されたが、どのように総括するか。

総務課長 町議会議員選挙は、16年ぶりに投開票が行われた。そのことに寄与したのではないかと考える。

会計年度任用職員の給与改正【全員賛成】

二藤部冬馬 議員

会計年度任用職員にも勤労手当を支給することになったが、当町では支給率が再任用職員と同じ。正規職員と同じ待遇にすべきでは。

町長 財政を鑑みながら研究する。

山形県の人口減少の特徴は女性の流出が著しいことだ。労働環境の整備を。

町長 女性が働きやすい職場を作っていく。

指定管理者制度【全員賛成】

小玉 勇 議員

指定管理者制度は入札には適さないのか。

まちづくり推進課長 積極的にやりたいという事業者が複数発生した場合は入札がふさわしい場面もあると思うが、町が管

理してもらいたい業者があればその事業者を優先する。

川崎 義治 議員

同じ事業者が長年続けると競争力がついてこない。経費削減のため、積極的に事業者アナウンスを。

町長 これからいろいろ研究していく。

人権擁護委員の推薦

伊藤絹枝さん(下宿)を人権擁護委員として推薦することに異議ない旨答申しました。

任期は令和6年7月1日から3年間です。

.....

玉谷正弘さん(白鷺)を人権擁護委員として推薦することに異議ない旨答申しました。

任期は令和6年7月1日から3年間です。



5人の議員が 一般質問

一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことを言います。

質問内容は、議案とは関係なく自由に決めます。

質問席は、対面式になっており、答弁者と向かい合い質問します。

1人当たりの持ち時間は1時間です。

おおの たつや
大野 達也 議員 …………… 9ページ

- ◆地域おこし協力隊について
- ◆小学校のクロスカントリー授業について
- ◆利用者数の少ない施設の活用について

かわさき よしはる
川崎 義治 議員 …………… 10ページ

- ◆役場に設置の目安箱について
- ◆町内のごみ排出量の削減と再資源化について
- ◆小学校統合整備事業における、統合小学校建設決定の過程について

こだま いさむ
小玉 勇 議員 …………… 11ページ

- ◆最上川治水対策事業についての疑問と不安

かいとう よしのり
海藤 義則 議員 …………… 12ページ

- ◆町の農業振興について
- ◆子育て支援について

むらかた しょういち
村形 昌一 議員 …………… 13ページ

- ◆官製談合事件の総括はいつになるのか
- ◆「次世代に虹を架ける」のであれば小学校建設よりも子育て支援策の拡充が優先ではないか
- ◆最上川治水対策の進捗状況は

どづつずる!? 大石田

一般質問は、以下の画像を読み取ることで、インターネットにより随時ご覧いただくことができます。

また、会期中は、議会中継をライブ配信しております。是非ご覧ください。





地域おこし協力隊
について

新しく着任した協力隊員
の主たる業務は。

町長 空き家の現地調査・空き家バンクへの登録促進・空き家活用事業の企画実施など空き家利活用促進に係る活動を担当する。

今後どのように空き家の
管理を整備していくのか。

町長 空き家バンクを運営しているが現状登録物件が少ない。

登録していただけるような物件の掘り起こしを協力隊員のサポートを受

けて進めていく。

これまで7名の協力隊員
が任期満了だが、反省点・
改善点は。

町長 活動が定住定着につながらなかった事例があることは認識している。改善策として任期後のビジョンを町が示すことによつて応募者の方が任期後のビジョンを思い描きやすくしていく。

着任後には起業、就業に向けた支援を積極的に
行っていくことで地域への定住定着につなげていく。

クロスカントリー授業の 道具が高額だが

おの
大野 達也 議員

子育て支援の一環として 研究していく

町長



末石隊員、久龍隊員、土田隊員、3年間ありがとうございました

活動においての反省点・
改善点は。

まちづくり推進課長

協力隊員の将来的なビジョンを、ヒアリングを通して実現できるように町として支援していきたい。
産業振興課長 インバウンドの活用方法を職員が理解できていなかった。
協力隊員の考えを再度聞いた上で、尾花沢市の観光資源である銀山温泉と連携しながらどのような周遊を図れるか模索していく。

末石隊員により改善された駅の待合所、今後はどういう対策をとっていくのか。
まちづくり推進課長
来年度以降も継続して関わっていただければと考えている。

小学校のクロスカントリー
授業

子育て支援が必要なほど
家庭から高額な出費が出
ているとの認識で間違
ないか。

町長 道具が高額という
認識はある。

小学校にはリサイクル
でうまくいくような形で
進めてほしいと課長を通
じて指示した。

クロスカントリーの授業
の必要性は。

教育長 豪雪地帯である
当町の特性を活用した冬
の体力づくり、体の調整
力の向上として大変有効
の必要性はある。

豪雪の特性の活用は必要
か。
教育長 雪に親しむ、雪
を克服する、耐える気持
ちが幼いうちに培われる
ものではないかと考えて
いる。

利用者数の少ない施設の
活用について

最大限活用して。

町長 利活用することは話
し合っていく。



用具準備の支援を



総合教育会議の役割は

首長と教育委員会の協議・調整の場であり決定機関ではない。会議の本質からそれではないのか。

教育長 町長の命を受け、教育委員会で基本構想・基本計画を策定し、総合教育会議で協議・調整し、町長が決定するため、それではないのか。

住民説明会の席上、教育に関する最大の決定機関である「総合教育会議で決定した」と発言されたが、教育長 3月の住民説明会で誤解を招く発言と

なった。訂正する。

小学校統合事業の進捗状況の説明資料に条例「大石田町小学校統合整備委員会設置条例」を開催した記載がない。

町長 条例の第1条に委員会の目的として「大石田町小中学校の規模及び学級の適正化に努め、教育の向上を図るための大石田町統合整備委員会を置く。」と規定している。

統合時期や場所、校舎の広さ等を助言する委員会ではないため、開催しなかった。
町長 第2条に委員会の業務に小中学校の統合整備に関する「助言」「啓発及び趣旨の徹底」「実施の推進」と規定されており開催の義務がない。そのため条例違反にはあたらぬ。決定の過程に問題はない。

小学校統合事業決定の過程に問題はないのか

川崎 義治 議員

基本構想・計画は町長が決定、法令、条例違反ではない 町長



3 / 5 小学校統合に関する説明の様子 (虹のプラザ中会議室)

役場設置の目安について

昨年12月より何件の提案があり、活用されたのか。

町長 2月末までの提案数は2件、皆様からのアイデアやご意見は重要であり、町民の声を聴く姿勢を常に持ち続け町政に活かしていく。

提案ボックスの利用が少ない。広報へ掲載し、電話、郵便で受け付けては。

町長 広報への掲載と郵便での受付を検討している。3月6日より電子メールでも受け付けている。

回答を希望、公表を希望の意見はあったのか。
町長 回答、公表を希望するご意見は1件、回答し、ホームページに公開した。

ゴミの削減と再資源化

町内のごみ排出量の削減と再資源化の数値目標は。

町長 「大石田町ごみ処理基本計画」を平成30年に策定し、排出量削減と再資源化目標を設定している。

目標・計画等をわかりやすく広報に掲載、また環境教育や勉強会など開催できないか。

町長 ごみ排出抑制・再資源化に取り組むため、町、住民及び事業者の役割を明確にして取組む。環境教育や資源分別など啓発を積極的に行う。



役場1階ロビーにあります



最上川治水対策

移転可能な土地はどれだけあるのか。

町長 代替地として5.3ha登録している。6年度未利用の町有地1200㎡を宅地整備する予定。

定住促進基本助成金交付要綱には「公共工事移転補償の場合は除く」とされているが。

町長 目的を達成するため、当該要件を削除する改正の検討を進めている。この要綱改正は、違法ではない。

補償金は自由に使うことができるのか。

町民税務課長 詳細は税務署に相談してほしいが、補償金は所得税として取り扱われる。「対価補償金」や「移転補償金」等があり、特別控除等はある。

所得申告はどうなる。

町民税務課長 詳細は税務署に確認してほしいが、移転が完了し、補償金のすべてが支払われた年の翌年に確定申告する必要がある。国が発行する証明書を添付することで特例を受けることが可能となる。

治水・定住対策グループは何をするのか

小玉 こだま

勇 いさむ

議員

国と町民との橋渡しとフォロー

町長



移転の課題、早期対応を（下宿地区）

家屋の撤去、引っ越しなどに町は関与するのか。
建設課長 補償金のうち、「建物移転に伴う経費」には移転先を探すための費用や引っ越し等に必要な経費を含んでいるため、町で関与する予定はない。

建設課の治水・定住対策グループは何をするのか。

町長 治水対策プロジェクトの推進、公共事業関連の定住対策及び水辺を活かしたまちづくりを業務としている。

それぞれの業務において実施主体である国と町民との橋渡しや移転対象者へのフォロー、かわまちづくり事業の推進を担っていく。

最上川治水事業に関する相談窓口を1か所にできないか。

町長 可能な限りワンストップサービスができるように進めていく。



税に関する相談は、税務署へ



令和6年度の農政で最重要と思うことは

かいとう よしのり
海藤 義則 議員

「地域計画」の策定に取り組む

町長

水張5年問題

他の市町とまとまって特例措置の認定を受けられるよう、当町が率先して動いては。

町長 町村会を通じて国に働きかけ、町村の会合でも話していく。

畑地化問題は。

町長 町内はほとんどがソバと認識している。今後は、国、県に対してゲタ対策の拡充を要望していく。

J-クレジット実施は。

町長 国、県、JA等と協議しながら検討していく。

新規就農問題について、

地域おこし協力隊の活用は。

町長 町内の受け入れ体制等を検討して進めていく。

産業振興課長

町の農業士会でも受け入れ、指導する考えはあると伺っている。

・地域計画

令和5年4月に改正された農業経営基盤強化促進法に基づき作成される地域農業の将来のあり方等を示した計画。
各市町村では、令和7年3月中の作成に向け、関係機関と調整を進めている。

・水張5年ルール

農林水産省では5年間に一度も水張が行われていない農地は、令和9年以降水田活用の直接支払交付金の交付対象にしない方針にしている。
交付対象から外れることで、耕作放棄地の増加や離農者の増加が懸念されている。

・J-クレジット

温室効果ガスの排出削減量を国が「クレジット」として認定する制度。
具体的な取組みとして、水田の中干し期間を延長することで温室効果ガスであるメタンの発生量を削減することなどがある。



どう守る？特産のソバ畑

有害鳥獣問題への対策は。

町長 イノシシ対策では延べ31か所、14kmの電気柵を設置し、今後10年を見据えて増設を考えている。

町職員の狩猟免許取得を。

町長 非常に興味深いと認識している。関係機関と協議の上、検討していく。

子育て支援

ランドセル支給を検討しては。

町長 当町の新入学児童支援としては、入学準備金を支給しており、令和6年度、支給額を拡充する。



小学校建設の住民説明会

どのような声があったか。

教育長 これまで4回開催しており賛否両論の意見があった。取捨選択し統合小学校の整備を進めていきたい。

令和4年見積りの25億より建設費が高騰している、どれくらいになるのか。

教育長 建設資材や人件費の高騰で当初より上がることが予想されるが額は想定できない。

何故、今の時期の建設か。教育長 小中一貫教育を

小学校建設よりも子育て支援の拡充が優先では

村形 昌一 議員

子どもの成長は待つてはくれない

町長

より充実させたいため。町長 教育なくして町の成長はないと思っている。

プールがなくなった経緯は杜撰なのではないか。

教育長 当初、会員150名の会費月額6千円で運営できると見込んだが、調査する中で運営費の見込みが大きく上回ったため、断念した。

床面積が広すぎるのでは。教育文化課長 当初広くみていたが交付対象面積に近づけていく。



小学校建設について答弁する教育長

官製談合事件の総括は

町民への説明責任は。

町長 経緯と結果はホームページに掲載する。

原因究明と全容解明についての副町長の考えは。

副町長 原因は個人的なものと考えている。

町長の考えは。

町長 二度と起こらないようにしたい。

最上川治水対策

昨年来の進捗状況は。

町長 1月に下宿・上ノ原、本町・愛宕町で意見交換会、3月に再度説明会を開催した。

用地の買収交渉はいつか。建設課長 大橋部分は令和7年からの予定になる。

移転対象者に寄り添いたいと公約してきたが。

町長 移転の要綱改正や宅地造成等、これからでもできるだけ寄り添いたい。



治水対策関連やっています (治水対策グループ)

請願

地方自治及び自己決定権を尊重し、十分な対話を

◆請願名 地方自治と沖縄の自己決定権を尊重し沖縄県との十分な対話で基地問題の解決に臨むことを国に求める意見書に関する請願

◆請願者 沖縄に応募する会@山形
代表 漆山ひとみ

◆紹介議員 小玉 勇

◆請願要旨 2023年に福岡高裁那覇支部が下した判決は、国が県知事の権限を奪う代執行を認めたが、「国と地方は対等」と位置づけられた地方自治法の理念と沖縄県民の自己決定権をないがしろにした理不尽なものである。安全保障が国の役割であっても、自治体に理解を求め、対話で問題解決を図るべきである。

このことから、以下の事項を国に求める意見書の提出を提案する。

1. 地方自治法を順守し沖縄県との十分な対等な対話により問題解決に臨むこと
2. 沖縄の自己決定権を尊重し軍事植民地支配をやめること

不採択とすることに

賛成多数

反対：二藤部議員、
村形議員、
小玉議員



不採択とすべき

今野雅信 議員

不採択とすべきとの委員長報告に賛成の立場から意見を述べる。

沖縄基地問題は、危険な普天間飛行場の代替施設として、辺野古移設を早期に進める必要があると考える。

また、周辺国の海洋進出、ウクライナ侵攻等から、米軍基地の重要性も増している。このことから、「軍事植民地支配」という文言は、妥当性を欠く。

上記の請願は

討 論

討論とは？

現に議題になっている事件に対して、自己の賛成または反対の意見を表明すること。

採択とすべき

二藤部冬馬 議員

不採択とすべきとの委員長報告に反対の立場から意見を述べる。

自治体が承認していないものを、国が代執行の形で強制的に進める。このことは国と地方自治体とが対等であるとの観点から、沖縄県のみならず、全国民が危機感を抱くべき事例だ。

対等な対話を求めること、十分な対話を求める声は認めるべき、と考える。

お詫びと訂正

議会だよりNo.179で記載内容に誤りがありました。訂正してお詫びします。

P3の小見出し

誤) ワンストップ特例申請受付業務

正) 住民基本台帳・戸籍附票システム改修業務

議会を傍聴しませんか

お気軽にお越しください(議場は役場3階です)

◆次回の定例会は

6月6日(木)~12日(水)の予定です

お問い合わせ先 大石田町役場 議会事務局
電話35-2111 (内線311)

副町長に就任して

たかはし ゆたか
高橋 裕 副町長 (52歳・山形市出身)



私は約30年間県職員として務めてまいりましたが、この度ご縁をいただき、大石田町の副町長に就任いたしました。

孔子の弟子である荀子の言葉に「着眼大局、着手小局」というものがあります。物事を大局的に捉えつつ、それを実現するためには細かなところにも目を配らなければならないという教えです。

大石田町では、今後大きな事業がいくつも予定されていると伺っておりますが、私の役割の1つは、外から来た者として新たな視点を加え、着眼大局、着手小局により職員の方々と共に成功に導いていくことだと考えております。

また、外国人をはじめとする観光客等がいかに町内を周遊してもらうか等、これまでの私の経験と、町の皆様の知恵や知識とを組み合わせ、より良い町づくりを目指し粉骨砕身で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

物価高騰に対応するため、 エール券ほか発行

第1回 臨時会
1/25

議案第1号 令和5年度大石田町一般会計補正予算（第7回）

全員賛成

○歳入歳出それぞれ4712万円を増額。

・「おいしいだエール券」発行事業補助金…約3249万円【増額】

・学校施設整備費（中学校）……………約457万円【増額】ほか

議案第2号 大石田町手数料条例の一部を改正

○地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に伴い、改正する。

可決

ふるさと納税の増加に伴う 積立金ほか増額補正

第2回 臨時会
3/28

議案第25号 令和5年度大石田町一般会計補正予算（第9回）

全員賛成

○歳入歳出それぞれ6838万円を増額。

・ふるさと応援基金積立金…約2000万円【増額】ほか

議案第26号 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

賛成多数

○虹のプラザ利用料の一部を紛失したことの責任をとり、令和6年4月に支給する町長及び教育長の給料を10%減額する。

反対：大野議員、
海藤議員、川崎議員、
二藤部議員

可決

可決

女性・青年模擬議会の参加者を募集します

今年度も
開催します。

開催日は、6月22日(土)の予定です

お問い合わせは、大石田町役場 議会事務局 電話35-2111（内線311）

もう一つの顔 Vol.1

もり ひろ き
森 弘樹さん (次年子地区)

そば切り源四郎

大石田町次年子149 TEL 35-6307

営業時間 11:00オープン

～ そばなくなり次第終了

定休日 木曜日(臨時休業あり)



Q. あなたの仕事は？

蕎麦屋です。

Q. もう一つの顔は？

ミュージシャンです。「カーティス・森」のアーティスト名で活動しています。

Q. 名前の由来は？

尊敬するミュージシャン、「カーティス・メイフィールド」からとって師匠の息才隆浩※氏が名付けてくれました。

※息才隆浩 日本を代表するベーシスト

Q. これまでの活動は？

幼少期から歌うことが好きで、大学時代はストリートミュージシャンとして活動していました。

そのころ、息才氏が所属するバンドにスカウトされ、ソウルミュージックに出会いました。



現在は、プロのソウルミュージシャンとしてライブやイベントに出演しています。

Q. 今後の展望は？

まずは蕎麦屋として一人前に。

ミュージシャンとしては演者兼プロデューサーとして自分の培った経験を生かし、次の世代へと繋げていきたいです。

Q. 議会へ一言

音楽とそばで一緒に町を盛り上げましょう♪

ライブ情報

カーティス ワンマンライブ

5月29日(水) 山形「mercy」
19時30分スタート MC. 2000yen

議員から一言

そばの味、話し方、経歴もとても面白く楽しい時間でした。ぜひ皆さんもカーティス・森さんのそばと音楽をご賞味あれ。

3月の定例会では、改選後初の予算特別委員会が開催された。
給食費完全無償化などの子育て支援政策を含む、令和6年度予算が可決された。ピーク時1万人以上だった町の人口は、現在約6100人。昨今の婚姻件数は年間4、5件と、危機的状況が続いている。
加えて、堤防の拡幅や大橋架け替え等の大規模事業を抱え、移転先などの課題も山積みだ。
希望をもって暮らせる大石田町のため、町政を見つめ、さらに質上げていきたい。町民一人ひとりにとって、より良い年度となるように切に願う。

【記 二藤部】

■ 広報常任委員会

委員長 二藤部冬馬
副委員長 大野 達也
委員 遠藤 和好
委員 川崎 義治
委員 小玉 勇

